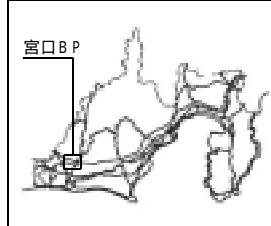
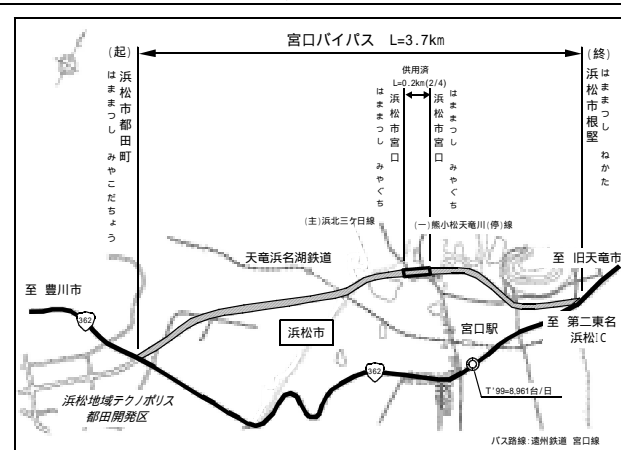


## 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

事業名：一般国道362号 宮口バイパス	事業区分：一般国道	事業主体：静岡県												
起終点：自：静岡県浜松市都田町 至：静岡県浜松市根堅		延長：3.7km												
<b>事業概要</b> 一般国道362号は、愛知県豊川市から静岡県静岡市に至る延長15.8kmの主要な幹線道路である。宮口バイパスは、現道の狭隘区間を解消し、安全で円滑な交通の確保及び浜松テクノポリスや第二東名浜北ICとの接続を目的とした延長3.7kmの4車線道路（暫定2車線整備）である。														
H3年度事業化	H5年度都市計画決定	H4年度用地着手												
H10年度工事着手														
全体事業費	約45億円	事業進捗率												
計画交通量	10,500台/日	供用済延長												
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.3 (残事業) 7.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 14/47億円 (事業費：11/44億円 維持管理費：3/3億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 106/106億円 (走行時間短縮便益：104/104億円 走行費用減少便益：1/1億円 交通事故減少便益：2/2億円)	基準年 平成17年										
<b>事業の効果等</b> ・安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） ・個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される）他10項目に該当														
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 一般国道362号は地域間交流の促進、交通混雑の緩和に重要な役割を果たすことが期待されており、地元の浜松市より早期整備の要望（平成17年7月）を受けている。														
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 社会経済の発展や市町村合併による地域間交流が活性化し、当路線への交通需要が高まっている。														
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 平成15年に延長0.2kmの部分供用を行うなど事業は着実に進んでいる。現在は用地買収や道路改工事の推進を図っている。														
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 事業推進に対する地元要望は強く、事業も順調に進捗しているため、早期供用を図っていく。														
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 今後も新技術・新工法等を積極的に導入し、コスト縮減を図るよう検討していく。														
<b>対応方針</b> 事業継続														
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。														
<b>事業概要図</b>														
														
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>凡</th> <th>例</th> </tr> <tr> <td>—————</td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td>-----</td> <td>事業中</td> </tr> <tr> <td>.....</td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td>———</td> <td>うち供用中</td> </tr> </table>	凡	例	—————	供用中	-----	事業中	.....	再評価箇所	———	うち供用中				
凡	例													
—————	供用中													
-----	事業中													
.....	再評価箇所													
———	うち供用中													

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。